

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第1区分
 【発行日】平成22年7月29日(2010.7.29)

【公表番号】特表2009-539586(P2009-539586A)
 【公表日】平成21年11月19日(2009.11.19)
 【年通号数】公開・登録公報2009-046
 【出願番号】特願2009-514593(P2009-514593)
 【国際特許分類】

B 0 1 D 33/04 (2006.01)

C 0 2 F 11/12 (2006.01)

【F I】

B 0 1 D 33/04 Z A B D

C 0 2 F 11/12 D

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月11日(2010.6.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

材料に作業を施す装置において、経路に沿って移動可能な1つまたは複数の細長シートであって、前記作業の少なくとも一部が内部で行われることになる移動可能な管状構造を組み立てるために、前記細長シートの長手方向縁に沿って離脱可能に繋ぎ合わされるように構成された、1つまたは複数の細長シートを備え、前記管状構造の少なくとも一部が液体浸透性を有していることを特徴とする装置。

【請求項2】

材料をその固体成分と液体成分とに分離するように処理する装置において、1つまたは複数の細長シートであって、液体浸透性側壁を有する管状構造を組み立てるために、前記細長シートの長手方向縁に沿って密封可能および離脱可能に繋ぎ合わされるように構成された、1つまたは複数の細長シートと、処理される材料を前記管状構造内に導入する手段と、前記管状構造内に収容されている材料から液体を絞り出すために、前記管状構造をその長さに沿って圧縮する手段と、を備えていることを特徴とする装置。

【請求項3】

材料をその固体成分と液体成分とに分離するように処理する装置において、柔軟な液体浸透性側壁を有する管状構造を備え、前記管状構造は、チャンバ部を画定し、前記チャンバ部の一端は、処理される材料を受けるために開かれ、前記管状構造は、前記チャンバ部の他端において、前記他端を通る液体流れを阻止するために、閉じ込められ、前記管状構造の前記閉じ込めは、前記柔軟な側壁を横方向内方に収縮させ、前記側壁によって画定される断面積を減少させ、これによって、前記収縮している側壁間に収容されている材料を加圧し、前記管状構造を成形することによって、もたらされていることを特徴とする装置。

【請求項4】

材料を2つの箇所間に運搬する装置において、少なくとも1つのローラ構造が組み込まれた経路の周りに移動可能なエンドレスベルト構造を備え、前記エンドレスベルト構造は、前記2つの箇所間に延在する管状構造に組み立てられるように構成されたエンドレスベルト部を備え、運搬される材料は、前記管状構造の一端に導入され、前記管状構造に沿っ

て運搬され、前記運搬された材料は、前記管状構造の他端から排出され、前記エンドレスベルト構造は、前記ベルト部に接続された2つのエンドレス索要素をさらに備え、前記索要素は、それらの間に前記ベルト部を支持するのに適するようにされ、前記ローラ構造は、2つのホイールを備え、前記ホイールの各々は、前記索要素の各1つを案内可能に受け取るように構成された外周を有していることを特徴とする装置。

【請求項5】

少なくとも1つのローラ構造が組み込まれた経路の周りに移動可能なエンドレスベルト構造を備える装置において、前記エンドレスベルト構造は、移動可能な管状構造を組み立てるために、離脱可能に接続されるように構成された長手方向縁を有するエンドレスベルト部を備え、前記管状構造は、前記エンドレスベルト構造の移動中に、前記管状構造の一端で連続的に組み立てられることが可能であり、前記管状構造の他端で連続的に分解されることが可能であり、前記エンドレスベルト構造は、前記ベルト部に接続された2つのエンドレス索要素をさらに備え、前記索要素は、それらの間に前記ベルト部を支持するのに適するようにされ、前記ローラ構造は、2つのホイールを備え、前記ホイールの各々は、前記索要素の各1つを案内可能に受け取るように構成された外周を有していることを特徴とする装置。

【請求項6】

少なくとも1つのローラ構造が組み込まれた経路の周りに移動可能なエンドレスベルト構造を備える装置において、前記エンドレスベルト構造は、移動可能な管状構造に組み立てられるように構成されたエンドレスベルト部を備え、前記管状構造は、前記エンドレスベルト構造の移動中に、前記管状構造の一端で連続的に組み立てられることが可能であり、前記管状構造の他端で連続的に分解されることが可能であり、前記エンドレスベルト構造は、前記ベルト部に接続された2つのエンドレス索要素をさらに備え、前記索要素は、それらの間に前記ベルト部を支持するように構成され、前記ローラ構造は、2つのホイールを備え、前記ホイールの各々は、前記索要素の各1つを案内可能に受け取るように構成された外周を有していることを特徴とする装置。

【請求項7】

請求項1～6のいずれか一項に記載の装置を利用する、材料を処理する方法。

【請求項8】

材料をその固体成分と液体成分とに分離するように処理する方法において、1つまたは複数の柔軟なベルトであって、各々がエンドレス経路の周りを移動可能である、1つまたは複数の柔軟なベルトを設けるステップと、前記1つまたは複数のベルトをその長手方向縁に沿って離脱可能に繋ぎ合わせ、液体浸透性側壁を有する管状構造を形成するステップと、前記管状構造の一部を収縮させ、前記管状構造内の物質を圧縮し、前記物質から液体を絞り出すステップと、前記1つまたは複数のエンドレスベルトの前記長手方向縁間の接続を解除し、前記管状構造内に閉じ込められている固体物質を除去するために露出させるステップと、を含むことを特徴とする方法。